

施策評価シート	評価対象年度		計画		この施策を記入する課等		生涯学習推進課												
	評価者	社会共創部長	担当者	担当者	担当者	生涯学習推進課長	担当者	担当者											
基本目標	4	一人ひとりが学び、高め合うまち																	
基本施策	6	主体的に学び合い、学びを生かすことができるまちづくり																	
施策	12	総合戦略	多様な生涯学習の推進																
施策の目指す姿	生涯にわたって学びたいときに学べる機会と場所があり、市民同士が互いを高め合えるまちを目指します。																		
SDGSとの関連																			
成果指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等											
	「生涯学習の機会充実」の満足度		%	34.2 (2019)	32.1 (意識調査'23)	40	80.3	社会情勢の変化により、時間等の余裕がなく、ゆとり、潤いを求めて生涯学習に取り組むと思う人が減少していると思われる											
プロセス指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	進捗状況評価	進捗状況の主な要因等											
	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数		人	156,437 (2019)	147,004	180,000	C	子ども学習室、コミュニティスペース、個人利用、展示スペース等の利用促進等を図ったが目標値に届かなかった。利用団体の使用回数、会員数の減少などが考えられる											
	出前講座の延べ受講者数		人	5,990 (2019)	5,077	8,000	C	講座数は殆ど変わっていないが学校関係からの要望が減少した											
施策に関連する主な事務事業の評価																			
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント											今後の方向性				
公民館管理事業	普通	普通	変わらない	いつでもどこでも学ぶ場所を提供し、地域のコミュニティの拠点となる身の丈に合った施設を維持管理していくことは重要である											現状維持	縮小			
公民館活動事業	普通	有効	やや向上	つどう、まなぶ、むすぶことを促し、人づくり地域づくりに貢献することから公民館の役割は大きい											現状維持	縮小			
◆公民館整備事業	普通	普通	変わらない	各地域公民館が老朽化しているため今後の改修事業費が見込まれるが、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った施設整備を進める。											休止・廃止	皆減			
臥竜山公会堂管理事業	やや低い	あまり有効ではない	変わらない	稼働率が低いため、使い勝手や有料施設である点が影響している可能性があり、維持管理費が増加傾向にあるため、今後の施設の在り方について見直しを行う必要がある。											現状維持	縮小			
◆臥竜山公会堂整備事業	やや低い	有効ではない	変わらない	事務事業評価なし															
生涯学習推進事業	普通	有効	やや向上	生涯学習を推進するための各事業は有効であるが、社会情勢の変化などに対応した事業見直しが必要である											現状維持	縮小			
生涯学習センター管理事業	普通	普通	変わらない	いつでもどこでも学ぶ場所を提供し、地域のコミュニティの拠点となる施設を維持していくことは重要である											現状維持	縮小			
◆生涯学習センター整備事業	やや低い	有効	やや向上	西館等取壊しやLED化工事、施設の老朽化により改修等の工事費が今後見込まれるが、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った施設整備を進める。											休止・廃止	皆減			
旧上高井郡役所管理事業	普通	普通	変わらない	有料施設として施設料収入がある。運動系の利用団体の使用により、騒音や床に傷をつけるなどがあり今後、使用制限を設けながら文化財としての維持管理を行っていく											現状維持	縮小			
◆旧上高井郡役所整備事業	普通	普通	変わらない	市指定文化財を維持していくために今後の改修事業費が見込まれるが、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った施設整備を進める。											休止・廃止	皆減			



施策評価シート	評価対象年度		計画		この施策を記入する課等		文化スポーツ課													
	評価者	社会共創部長	担当者	担当者	文化スポーツ課長	担当者	担当者													
基本目標	4	一人ひとりが学び、高め合うまち																		
基本施策	7	文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり																		
施策	13	文化・芸術・交流活動の推進と継承																		
施策の目指す姿	地域の歴史・文化や芸術を市民が学び、親しみ、活躍するまちを目指します。																			
SDGSとの関連	(目標)	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長・雇用	インフラ・産業化・イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段・パートナーシップ		
成果指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等												
	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進」の満足度		%	33.9 (2019)	35 (意識調査'23)	50	70	2022年はコロナ禍での行動制限や活動自粛もあり、公の場での行事等が行われず、参加できる機会が少なかったことが数値低下の理由と思われる。												
	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合		%	18.4 (2019)	20.6 (意識調査'23)	30	68.7	2022年はコロナ禍での行動制限や活動自粛もあり、公の場での行事等が行われず、参加できる機会が少なかったことが、数値低下の理由と思われる。												
	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合		%	20.6 (2019)	20.4 (意識調査'23)	30	68	2022年はコロナ禍での行動制限や活動自粛もあり、公の場での行事等が行われず、参加できる機会が少なかったことが、数値低下の理由と思われる。												
プロセス指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	進捗状況評価	進捗状況の主な要因等												
	機能分散型総合博物館入館者数		人	32,584 (2019)	21,167	50,000	C	コロナ感染症の行動制限も解除され、2023年度より増加し回復基調となってきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。												
	メセナホール入館者数		人	81,170 (2019)	66,767	90,000	C	コロナ感染症の行動制限も解除され、2023年度より増加し回復基調となってきたが、消費行動の慎重姿勢の残存や、物価上昇に伴う実質的な所得の減少の影響もあり、入館者の回復には至っていないと考えられる。												
施策に関連する主な事務事業の評価																				
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント													今後の方向性 事業	コスト		
創造の家管理事業	低い	あまり有効ではない	変わらない	スポーツ協会の指定管理事業となっているが、財政状況を踏まえ、当該施設については、根拠法令および施設の現況を考慮した上で、廃止の方向で検討する必要がある。													休止・廃止	縮小		
◆創造の家整備事業	低い	有効	変わらない	財政状況を踏まえ、当該施設については、根拠法令および施設の現況を考慮した上で、廃止の方向で検討する必要がある。													休止・廃止	縮小		
文化活動振興事業	高い	有効	やや悪化	組織全体の事業見直し方針を踏まえ、従来から課題と認識されてきた領域にも積極的に取り組み、財政支出の状況および事業目的に対する成果を総合的に検証したうえで、事業内容の抜本的な見直しを図る必要がある。													縮小	縮小		
図書館管理運営事業	高い	有効	変わらない	財政状況を踏まえ経費削減に努めるとともに、施設運営においては創意工夫を凝らしながら、学びの支援、活字文化の継承、事業の刷新に取り組み、利用者満足度と利用率のさらなる向上を目指す。													現状維持	縮小		
博物館管理運営事業	普通	普通	変わらない	傘錚会館をはじめとする従来から課題が指摘されてきた領域にも積極的に取り組む必要で、財政支出の状況や事業目的に対する成果を総合的に検証したうえで、事業内容の抜本的な見直しを図るべきである。													縮小	縮小		
◆博物館整備事業	普通	普通	やや向上	市の公共施設全体の在り方を踏まえ、傘錚会館においてこれまで指摘されてきた課題に対応するためにも、施設の抜本的な見直しを図る必要があります。													縮小	縮小		
文化財調査研究事業	必要不可欠	有効	変わらない	埋蔵文化財調査など、実施が求められる事業は存在するが、厳しい財政状況や事業目的に対する成果を総合的に検証した上で、事業内容の進め方について再検討を行う必要がある。													現状維持	縮小		
文化財保存活用事業	必要不可欠	有効	やや向上	厳しい財政状況を踏まえ、事業目的に照らした成果を総合的に検証するとともに、必要性や重要性を整理したうえで、事業の進め方について見直す必要がある。													現状維持	縮小		
伝統的建造物群保存事業	高い	有効	変わらない	伝統的建造物群の活用は、国の補助制度を活用した施策が非常に有効で、修理や景観整備などに伴う補助事業には継続的な費用がかかるため、国の制度を的確に利用しながら、費用対効果を意識した計画的かつ着実な事業推進が必要。													拡充	拡大		
文化施設管理事業	高い	有効	変わらない	指定管理施設については、費用対効果の検証に加え、従来から課題とされてきた領域にも積極的に取り組み、財政支出の状況や事業目的に対する成果を総合的に評価し、事業内容の抜本的な見直しを行うことが必要。													縮小	縮小		
◆文化施設整備事業	普通	普通	変わらない	施設運営の現状を踏まえ、従来から課題とされてきた領域にも積極的に取り組むとともに、厳しい財政状況や事業目的に対する成果を総合的に評価し、事業内容について大胆かつ抜本的な見直しを行う必要がある。													縮小	縮小		
文書館管理運営事業	必要不可欠	有効	変わらない	厳しい財政状況を踏まえ、事業目的に照らした成果を総合的に検証するとともに、必要性や重要性を整理したうえで、事業の進め方について見直す必要がある。													現状維持	縮小		





